

St. Luke's International University Repository

WHOプライマリヘルスケア看護開発協力センターの 学術活動:学術活動報告(2001年度)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/418

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



学術活動報告（2001年度）

WHO プライマリヘルスケア看護開発協力センターの学術活動

〈ICN大会への参加〉

6月10日から15日まで、デンマークのコペンハーゲンで開催された国際看護婦協会（ICN）の第22回大会で、本学の改訂カリキュラムとその評価のプロセスを発表した。これはWHO協力センターの看護教育の発展に寄与する活動の一つと位置付けられる。

演題は“Nursing Curriculum Reform for New Era in Japan: A Tentative Evaluation”，発表者名は学長ならびに看護系の教授他である。実際の発表は、大会に参加した田代、菱沼がポスターでおこなった。発表内容は、日本の健康転換期から看護教育の変遷をとらえ、その背景の中で、本学の改訂カリキュラムのねらい、カリキュラムの概念枠ならびにこれまで実施してきたカリキュラム評価を評価枠に沿って説明し、2000年度現在における評価と今後の課題を含めたものであった。

カリキュラムの概念とカリキュラム構築に関して、またカリキュラム評価の実際についてなど、国内外の参加者から質問を受けた。